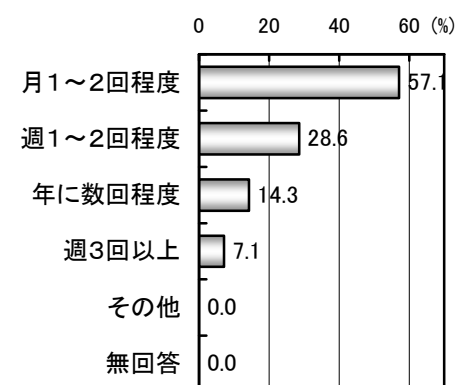


障害者関係団体の福祉総合センターの利用状況と建替えへの要望

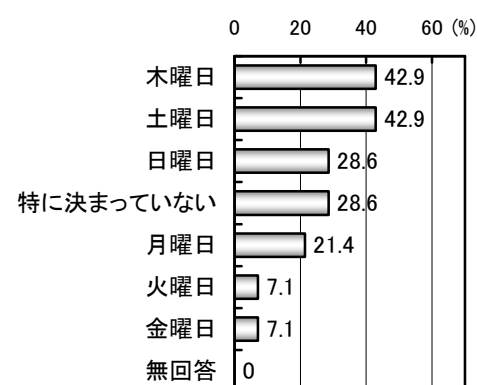
【福祉総合センターのみ利用団体(5団体)及びサン・アビリティーズの両施設利用団体(9団体)の合計14団体】

【福祉総合センターの利用状況】

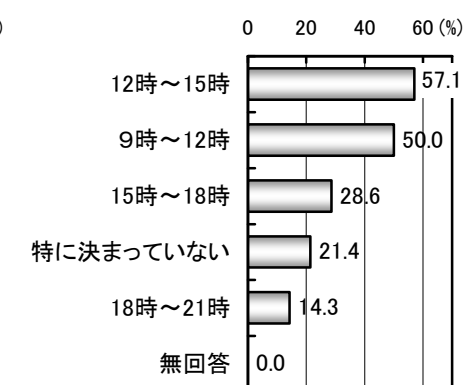
■利用頻度（MA）



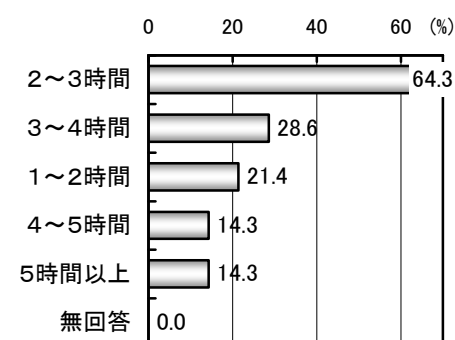
■利用曜日（MA）



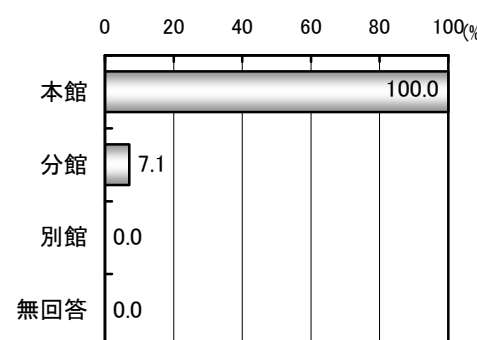
■利用時間帯（MA）



■利用時間（MA）

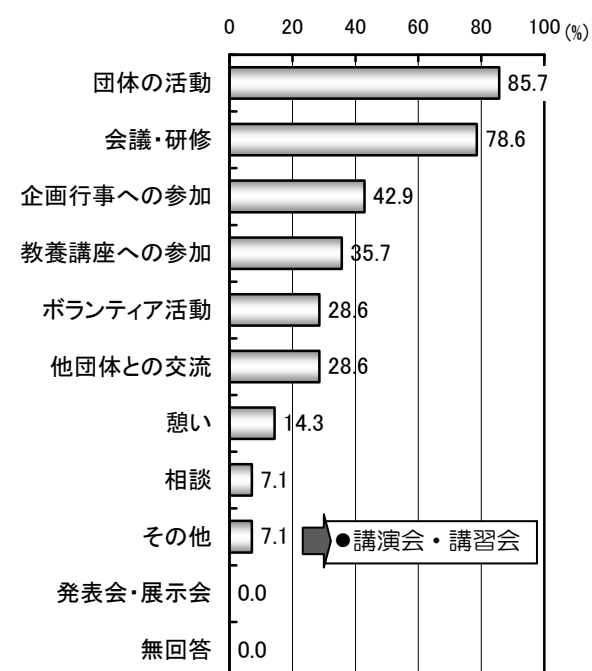


■よく利用する部屋（MA）

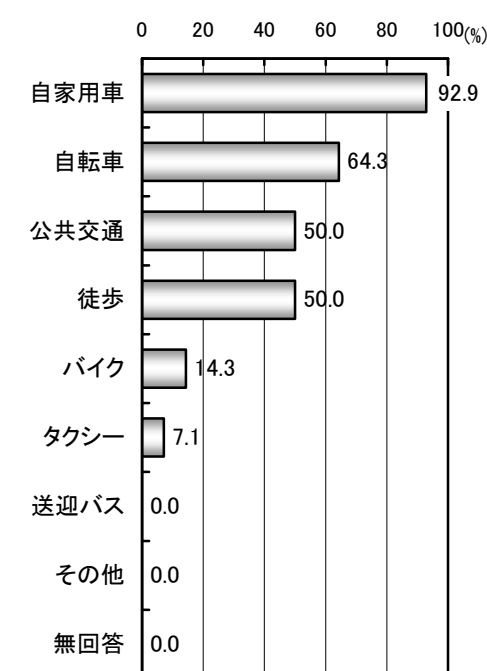


本館：会議室（78.6%）
教室（50.0%）
大会議室（42.9%）
小会議室（14.3%）
ボランティアセンター（14.3%）
点字図書室（7.1%）
分館：調理室（7.1%）

■主な利用目的（MA）



■交通手段（MA）



■良い点、継続すべき点（分野・主な意見）

- 施設の機能や活動拠点として（11件）
 - 地域のボランティアの拠点。
 - 聴覚障害者団体の活動拠点としての機能の継続。
 - 視覚障害者団体の活動拠点としての機能の継続。
 - 障害児の早期療育の場としての機能の継続。
 - 障害者関係者が気軽に集える場。
- 駅から近く交通の利便性や環境が良い（10件）
 - 南海岸和田駅から徒歩5分の位置にあり、活動拠点にもってこいの利便性がある。
 - 交通の利便性があるので、障害者や高齢者、子ども連れの人たちも利用しやすい。
 - 環境の良い所。
- 施設・駐車場の使用料が無料なこと（9件）
 - 大小さまざまな部屋を無料で借りられることを継続してほしい。
 - 部屋の利用料・駐車料の無料（継続を希望）。
 - 無償で部屋や駐車場を使えるのはありがたい。
- 運営や職員の対応が良い（5件）
 - 市民・団体の利用申込みは公平で、理解が深い。
 - 3か月前からの予約もできることの継続。
 - 利用について、相談の上、柔軟に対応。
- 設備（4件）
 - お茶の用意がされていて、ありがたい。
 - 各部屋の緊急灯があり安心感が持てる。継続を。
 - ロッカーを貸して頂けるので、備品の一部やサークルの持ち物などの一部が保管できる。

■悪い点、改善すべき点（分野・主な意見）

- 施設の機能や活動拠点として（8件）
 - 福祉避難所として十分な機能を備えてほしい。
 - 障害者のための歯科診療所や装具診察機能、リハビリテーション機能など、医療と福祉が連携できる機能を備えてほしい。
 - 福祉センターとして、医療や看護、相談の窓口としての力が備わっていない。
- 部屋の種類・数・内容等（5件）
 - 色々な方が集えるフリースペースが少ない。
 - 大会議室を間仕切りで2部屋、3部屋にして使えるように。または多目的な中ホールがあればいい。
 - 別館や分館は高齢者や身障者には利用しづらい。
 - 調理実習室をつくってほしい。
 - パソコン教室ができる部屋をつくってほしい。
- 運営／部屋の利用・予約・スケジュール管理等（5件）
 - 予約期間を1か月前から3か月前に。
 - 部屋の予約の簡素化（合理化）。
 - コピー代金を10円から5円に。
 - 一部の人たちに独占される事のないような室づくり、時間づくり。多くの人が利用できるように。
- 全体的な事、建物について（5件）
 - 老朽化している。
 - 耐震基準に当てはまらない点が気にかかる。
 - 会館そのものの案内が少なく、初めてだとわかりにくい

注)設備については、次頁の望む設備に合せて記載。

【サン・アビリティーズの利用状況から】

■施設利用に関して良い点、継続すべき点

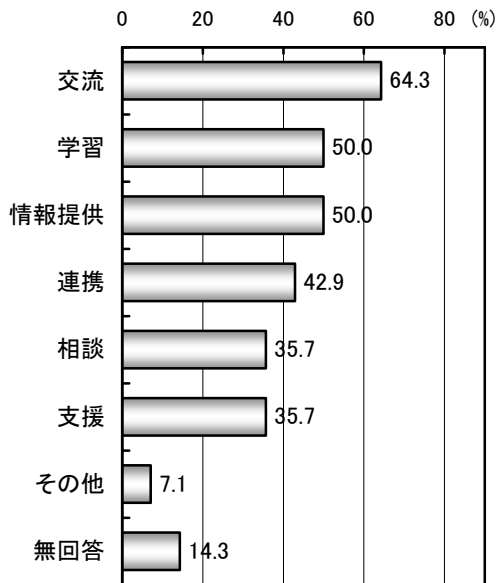
- バリアフリーである。
- スポーツ・文化に親しめる機能がある。
- 近くに中央公園もあるので、運動やスポーツにも使えて便利。
- 体育館がある。
- 周辺の人たちの避難場所として良い。
- 障害者の利用に関し、申込み優先がある。
- 部屋の使用料が無料。
- 福祉総合センターと休館日が違うので、代わりにならうのに便利。
- 団体専用ロッカー（倉庫）がある。
- 駐車場が広い。
- 障害者のための施設として、今後も使えるようにしてほしい。

■施設利用に関して悪い点、改善すべき点

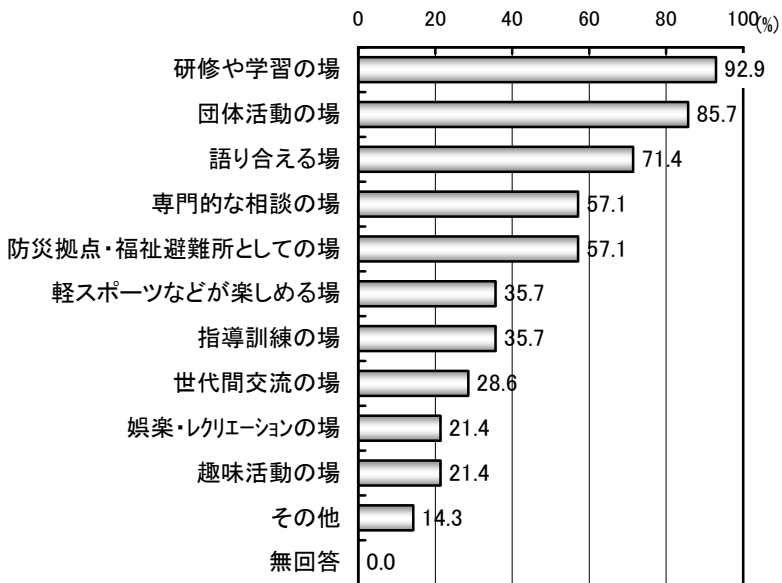
- 交通が不便。
- 敷地入口の地面のでこぼこが気になる。
- 緊急灯の作動状況が確認できていない。
- 身障者用トイレがバリアフリーでない。
- 障害者の利用に関し、申込み優先がある。
- 21時までで閉館される。時計を5～10分進めてあり、気分が悪い。
- 体育館内の各運動器具などの整理ができない。
- 今後、どのような形での運営となるか不安。

【福祉総合センターの建替えへの要望】

■重視する施設機能（MA）



■望む場（MA）



■ヒアリングからの意見・要望（アンケート調査以外）

【理念、機能、事業】

- 福祉センターとは何ぞや。
- 障害者児がそこで何かを身に付け、安心して楽しい思いをする。
- 訪問介護福祉士のステーション。
- ライフステージのどの時点での困りごとに対応した相談や支援のための窓口。
- 医療機能・・・ケースワーカー室、装具士、意見書を書いてくれる医師。医療相談や専門病院等の紹介。
 - ★保健センターの見直し・・・医療的な相談や歯科診療。
 - ★保健センターの福祉機能の整理と集約。
- ボランティアセンターの充実。
- 福祉について何でもそろっている施設。
- 体育館を活用した成人障害者のメタボ対策。
- 緊急時の預け先。
- 医師会から当番制による診療・相談。
- 手話奉仕員の養成。
- 二次避難所。
- 障害者施設としての機能。
- まちづくり関係。
- ボランティア関係や NPO の再編。市民活動センター構想。
- 公園は避難地の意味でも重要。
- FM
- 1 階部分を障害児の通園施設・・・入口の問題をどうするか。別の建物は可能か。工事車両の問題。
 - ★サンアビの所にもってくることは可能か。
 - ★サンアビがなくなると、町の避難所がなくなる。

【部屋、設備】

- 点字室はもう少し広く。
- 体育館は36m位ほしい。観覧席を設置。
- 多機能の駐車場が使い良い。
- エレベーターは、通り抜けできるように。
- 先進地事例の研究を。
- 活動県警の備品・機器等の保管スペース。
- 聴覚障害者専用の部屋・・・聾啞者が生活しやすくするための目的の部屋。
- 相談室など、自由に使える部屋。
- どの部屋にもスクリーン、プロジェクターがあればいい。
- 音楽室は防音に。
- 色々な障害者の人が、余裕を持って使えるようなスペースの確保。

【運営】

- 休まない福祉総合センター。
- 福祉センターの前にバス停を。

■望む設備（自由記述／主な意見）

①トイレ（13件）

- 洋式トイレ（2件）。
- 車いすの人が利用できること。
- 障害者用トイレの充実（男女別）。
- 各階に身障者用トイレの設置。
- バリアフリーストイレ（男女別々に）、オストメイト。大小とも数を増やす。
- 十分なスペースを確保し、多機能型トイレの充実。
- 車いす、ストマ、ベッド上排泄など、多様なニーズに対応した多目的トイレの設置を。
- 各階に大人用の着脱台、ウォッシュレット。
- 成人にも対応できる介助台。
- 車いす用のトイレ、着脱台、ベビー用おむつ替え台を備える。
- 現状よりも個数とスペースの確保。

④エレベーター（10件）

- 必須。
- 車いすなどゆったり乗れる。
- 視覚障害者用音声誘導施設。
- 車いす、ストレッチャー対応を含む2基。
- 電動車いすなど（機材）、大きな物も入れるように。
- 車いす複数、荷物などたくさん乗れるように。
- 開閉時のランプ点滅、ドアの一部をガラス化。
- 押しやすいボタン。延長ボタン。
- 非常ボタン・・・音声、映像での応答と文字案内
- 体調悪化時に消防署の救急隊が使用するストレッチャーが入るサイズが望ましい（大阪市市営地下鉄鶴見緑地線で設置）。

⑦その他（17件）

- 災害対策、福祉避難所としての機能が必要（2件）。
- 色々な世代、障害者が共に集えるフリースペース。
- 対面朗読の部屋の設置。
- 食事のできる場所、喫茶などの設置。
- 機能的第一（デザインは二の次）。
- すべての設備がユニバーサルデザインであること。
- 視覚的な情報提供。
- 各部屋にもフラッシュライトなどの緊急灯の設置。
- 各部屋だけでなく、廊下やトイレにも緊急灯を設置。
- 各部屋でインターネットが使える環境を整備。
- 電話が使える部屋。
- パソコンなどの必要機器などの収納場所。
- 音声版、点字版に必要な機材を置く場所の設置。
- 曜日により部屋の確保が難しいので、部屋を増やして。
- 公衆電話だけでなく、FAXやできればテレビ電話の設置を。
- 大会議室などの音響照明（スクリーン・プロジェクターの設置）。
- 自動販売機もユニバーサルデザインタイプにして。

②廊下（10件）

- 広く（2件）。明るく。
- 滑りにくい床材。
- 車いすで走行しやすい床（素材の工夫）。
- 段差なし。
- 視覚障害者用音声誘導施設。
- 視覚・聴覚障害者への配慮、車いすのガードの設置、わかりやすい案内（色あけ、矢印など）。
- 廊下やロビー内で交流できるスペース。
- 非常時用ライト。
- 緊急時の警報＋フラッシュライトの点滅。

⑤出入口（7件）

- 自動開閉。
- わかりやすくしてほしい。
- 視覚障害者用音声誘導施設。
- 滑りにくい床材質、設計。
- 屋根を広くかけて、車いす専用駐車場とつなぐ。
- バイクも車と同じ通路。
- 人と自転車を分ける。
- 広いエントランス。
- バビエの子どもたちが安心してできるように、別の出入口の設置。

③階段（11件）

- 滑り止めの設置（3件）。長期使うので耐久性のあるものを。
- 広いスペースの確保（3件）。
- 手摺を付ける（3件）。
- 両側に手摺。
- 段差は低く。
- 視覚障害者用音声誘導施設。
- 非常時に非常灯が点灯し、暗闇にならない。

⑥駐車場（9件）

- 車いすスペース（2件）。リフト者スペース。
- 車いす専用駐車場に屋根を設置。
- 車いすの乗降スペースは屋根付きで。
- 出入りのしやすいルート。
- 拡張を希望。
- 駐車台数を多くしてほしい。
- 十分な車の収容のために立体。
- 乗降、荷下ろしスペースの確保。
- 建物の近くまでの屋根付き。
- すれ違いができるような道幅。